

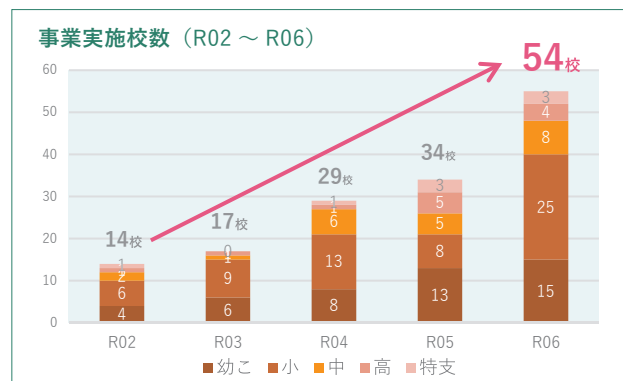
令和6年度 学校防災アドバイザー派遣事業実施校

月日	学校（園）名
6月17日	観音寺市立観音寺中央幼稚園
6月18日	観音寺市立高室小学校
6月19日	高松市立国分寺南部小学校
6月21日	三豊市立高瀬中学校
6月21日	高松市立東植田小学校
6月25日	さぬき市立さぬき南小学校
6月25日	善通寺市立中央小学校
6月25日	坂出第一高等学校
6月26日	坂出市立加茂小学校
6月26日	香川県立笠田高等学校
6月27日	高松市立植田小学校
7月03日	高松市立屋島小学校
7月17日	さぬき市立長尾小学校
7月18日	高松市立一宮幼稚園
7月22日	三豊市立三野津中学校
7月23日	香川県立香川中部支援学校
7月23日	桜町聖母幼稚園
7月23日	長尾聖母幼稚園
7月24日	三豊市立詫間小学校
7月24日	高松市立下笠居小学校
7月24日	まんのう町立長炭小学校
7月25日	高松市立香西幼稚園
7月29日	高松市立高松第一小学校
7月31日	高松市立栗山幼稚園
8月21日	高松市立鬼無幼稚園
8月22日	観音寺市立中部中学校
8月22日	香川県立高松西高等学校
8月23日	高松幼稚園
8月26日	香川県立高松支援学校
8月26日	まゆみ幼稚園
8月26日	観音寺市立大野原中学校
9月02日	丸亀市立綾歌中学校
9月02日	まんのう町立満濃中学校
9月02日	香川大学教育学部附属坂出小学校
9月03日	丸亀市立城坤幼稚園

月日	学校（園）名
9月03日	観音寺市立中部中学校
9月10日	高松市立香西小学校
9月10日	まんのう町立琴南こども園
9月11日	高松市立屋島小学校
9月11日	高松市立屋島西小学校
9月18日	高松聖ヤコブ幼稚園
9月18日	坂出市立加茂小学校
9月19日	坂出市立東部小学校
9月26日	高松市立大野小学校
9月27日	三豊市立高瀬中学校
9月27日	高松市立林小学校
10月04日	香川県立多度津高等学校
10月07日	三豊市立松崎小学校
10月08日	香川県立善通寺支援学校
10月09日	香川大学教育学部附属高松小学校
10月11日	さぬき市立さぬき南小学校
10月15日	高松市立国分寺南部小学校
10月22日	坂出市立東部小学校
10月25日	三豊市立山本幼稚園
10月28日	桜町聖母幼稚園
10月29日	三豊市立詫間中学校
11月01日	高松市立弦打幼稚園
11月05日	三木町立氷上幼稚園
11月12日	まんのう町立琴南こども園
11月13日	香川県立高松支援学校
11月20日	宇多津町立宇多津小学校
11月22日	観音寺市立大野原小学校
11月27日	観音寺市立豊浜中学校
11月30日	三豊市立本山小学校
12月04日	高松市立多肥小学校
12月06日	高松市立林小学校
12月06日	香川大学教育学部附属高松小学校
12月10日	高松市立香西小学校
12月13日	観音寺市立大野原中学校

令和6年度実績

54校 69回派遣
(幼・こ 15 園、小 25 校、中 8 校、高 4 校、特支 3 校)



Point

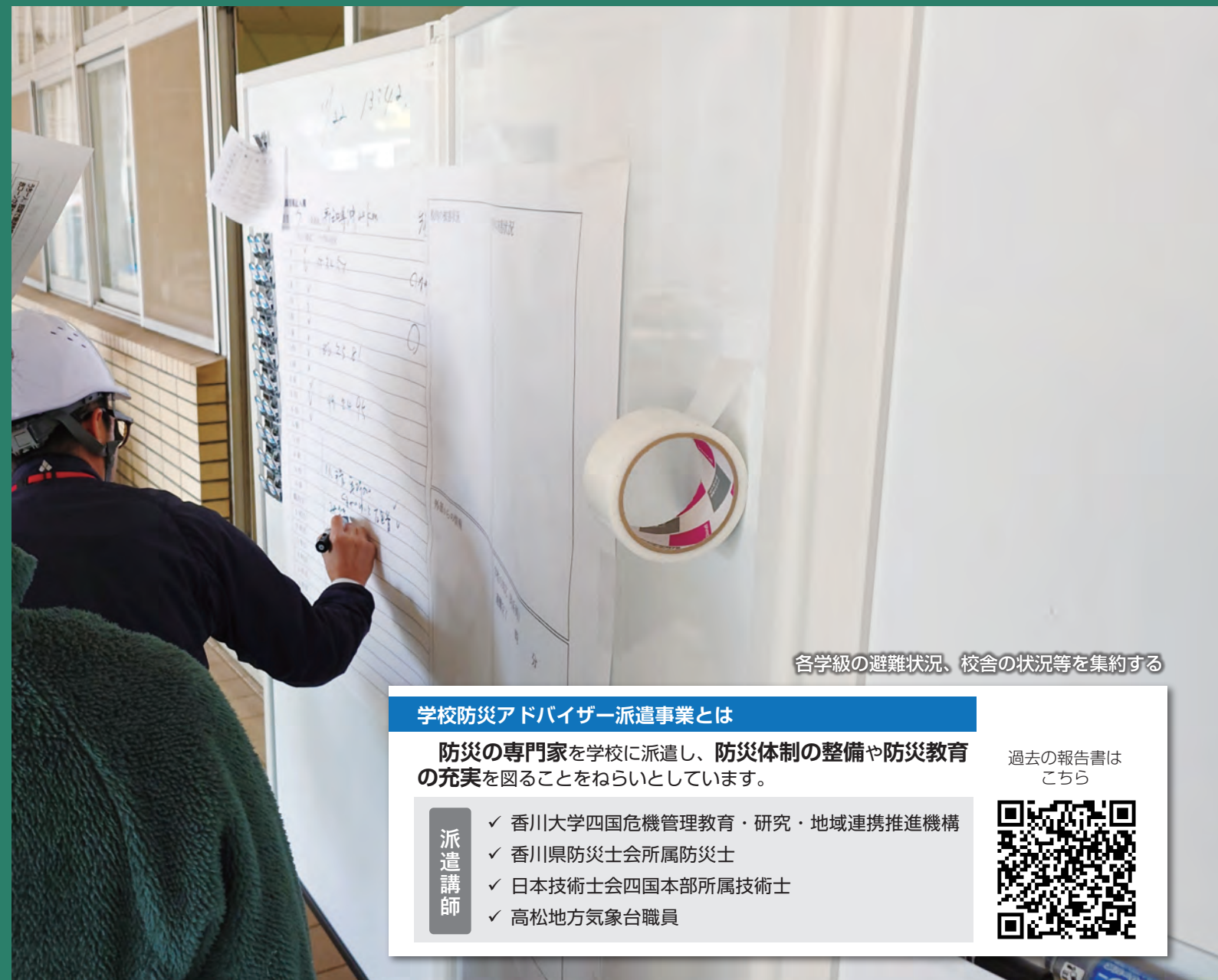
学校防災アドバイザー派遣事業をより効果的に活用する例

- ✓ 危機管理マニュアルや訓練の見直しを行う場合は、管理職だけの参加ではなく、**より多くの教員が参加できる時間で実施**する。
- ✓ 実施の際、**近隣の学校（園）や教育委員会、危機管理部門、地域防災関係者等**に声をかけ、**災害時の対応について共有**する。
- ✓ 事業実施後は、できる限り**早期に危機管理マニュアルや訓練計画を修正**する。

令和6年度

学校安全総合支援事業
(文部科学省委託事業)

学校防災アドバイザー派遣事業



各学級の避難状況、校舎の状況等を集約する

学校防災アドバイザー派遣事業とは

防災の専門家を学校に派遣し、**防災体制の整備や防災教育の充実**を図ることをねらいとしています。

派遣講師

- ✓ 香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構
- ✓ 香川県防災士会所属防災士
- ✓ 日本技術士会四国本部所属技術士
- ✓ 高松地方気象台職員

過去の報告書はこちら



令和6年1月1日に石川県能登半島で大地震が発生し、同年8月には宮崎県日向灘を震源とする地震が発生し、南海トラフ臨時情報が初めて出されました。そして令和7年1月13日にも、同じく宮崎県日向灘で地震が発生し、再び南海トラフ臨時情報が出されました。私たちは、近い将来に発生が懸念されている南海トラフ巨大地震、激甚化・頻発化する豪雨、台風などの計り知れない自然災害のリスクに直面しています。

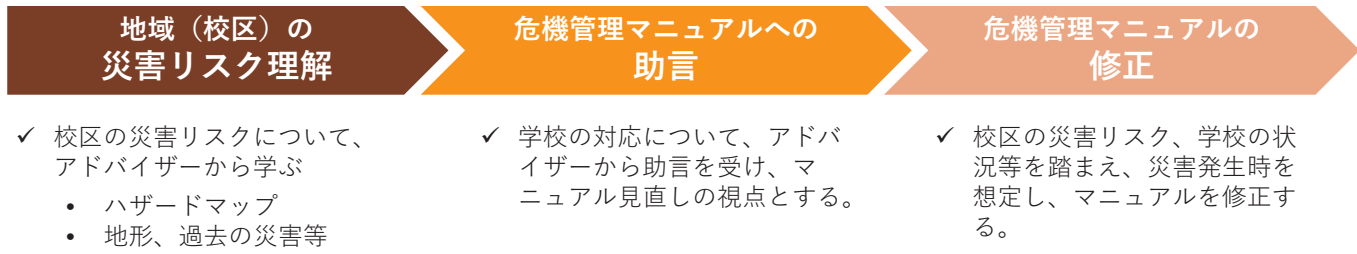
香川県教育委員会では、東日本大震災後の平成24年度から、希望する各学校（園）等に防災の専門家を派遣し、要望に応じて危機管理マニュアルや防災教育、より実効性のある避難訓練に対する助言、地域と学校との連携体制への助言等を実施してきました。

本報告書は、今年度の取り組みの紹介や成果等をまとめたものです。本報告書により、改めて学校における安全、安心とは何か、児童生徒等が安全、安心に生活できる学校とはどのようなものなのかを問い直すきっかけになれば幸いです。

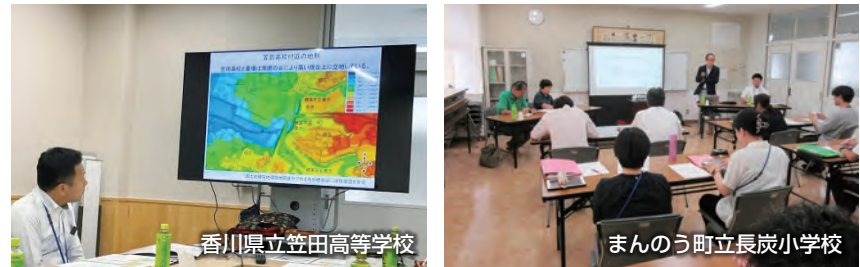
各学校（園）におかれましては、それぞれの実態に応じてご活用いただき、各学校（園）の取り組みの一助としていただきますようお願いいたします。

香川県教育委員会

危機管理マニュアル見直しの流れ



実践事例



アドバイザー（大学教授）から、ハザードマップや地形等の資料を使って、想定される災害被害を学びました。

現職教育等の時間を活用して、全教職員が校区の災害リスクを理解し、災害時の学校の対応について全員で考えました。

Point

近隣の学校（園）、教育委員会、地域の防災関係者等も参加する

✓ 校種等を超えて、災害時の学校の対応について意見交換しましょう。
✓ 特に保護者への引き渡し対応については近隣学校（園）と共有しましょう。

参考資料 香川県

○南海トラフ地震



南海トラフ地震の被害想定と対策を視覚的にまとめた映像資料等が掲載されています。

Point

校区の災害リスク等を、危機管理マニュアルに記載する

✓ 学校がどのような場所に立地しているのか、どのような災害リスクがあるのか等が全教職員が分かるようにしましょう。
✓ 人事異動等で教職員の入れ替わりがあっても、災害時の学校の対応を共有できるようにしましょう。

参考資料 香川県教育委員会

○学校の地震防災対策マニュアル作成の手引き



地震編



津波編

教職員全員で災害発生時の対応を見直した例

緊急地震速報発生から、管理職、教諭等、児童の動きをシミュレーションし、災害発生時の対応の見直しを行う

✓ 緊急地震速報発生からの管理職、教諭等、児童の具体的な動きを付せんに記入する。
✓ マニュアルや訓練計画に記載されている内容は青の付せんに、記載されていない内容は赤の付せんに記入し、時系列を踏まえて、各付せんを演習シートに貼る。

学校コメント

避難経路や避難場所等の安全確認、児童・教職員の状況把握等の役割や内容を明確にし、それを踏まえた訓練を実施する必要性を改めて感じた。



宇多津町立宇多津小学校

災害時初動対応訓練を行い、実際の災害時に起こりうる様々な事象への対応の見直しを行う

✓ アドバイザーから示される様々な状況・設問に対して、どのように対応するかをグループで議論し、付せんに記入する。
✓ 対応済みと未対応に整理し、各グループで出された意見を共有し、マニュアルの修正につなげる。

学校コメント

災害時に速やかに適切な対応を行う難しさを感じた。即座に対応、判断できるよう、マニュアルをしっかりと理解しておかなければと思った。



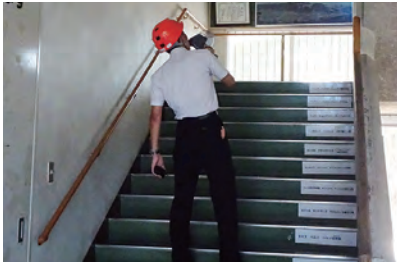
香川県立高松支援学校

実際の災害を想定した訓練例

訓練設定

・震度 6 弱
・窓ガラスの飛散
・放送機器が使えなくなる

写真左）ハンドマイクを使用して指示を伝達する様子
写真右）避難完了を示すパネル



坂南市立加茂小学校

訓練設定

・震度 7、余震あり
・校舎の一部崩壊
・負傷者の発生

写真左）机の下に隠れる様子
写真右）各学級の状況等を集約し、情報共有しやすくした工夫



観音寺市立大野原小学校

次のような実践的な避難（防災）訓練等を実施していますか。（複数回答可）
※回答_香川県内公立幼64園、小150校、中64校、高30校、特支9校

➤ 休み時間や給食時間、清掃中の 防災を想定した避難訓練	➤ 管理職の不在時を想定した避難 訓練	➤ 余震を想定した避難訓練
幼……51.6% 小…53.3% 中……32.8% 高… 3.3% 特支…44.4%	幼……34.4% 小…2.7% 中…… 3.1% 高…3.3% 特支…22.2%	幼……15.6% 小…10.7% 中……14.1% 高… 3.3% 特支…11.1%
➤ 登下校時を想定した避難訓練	➤ 停電を想定した避難訓練	➤ 引渡し訓練
幼…… 6.3% 小… 2.7% 中…… 1.6% 高… 0.0% 特支… 0.0%	幼…… 3.1% 小…5.3% 中…… 6.3% 高…6.7% 特支…44.4%	幼……76.6% 小…64.7% 中…… 1.6% 高… 0.0% 特支…55.6%

「学校安全の推進に関する計画に係る取組状況調査（令和 5 年度実績）」文部科学省 R6.11調査

学校防災アドバイザー派遣事業推進委員会

第 1 回会議：令和 6 年 6 月 5 日(水)
第 2 回会議：令和 7 年 1 月 16 日(木)

推進委員		
長谷川修一（香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構）		
白木 渡（香川県防災士会）	西山 香（香川県立聴覚支援学校）	
葛西 剛（日本技術士会四国本部）	富家 誠（香川県PTA連絡協議会）	
三谷 一秀（危機管理課）	山崎 史暁（東かがわ市教育委員会）	
長尾 剛司（高松市消防局）	長船 准児（観音寺市教育委員会）	
藤井 美紀（高松市川島こども園）	高木 慎弥（まんのう町教育委員会）	
市原 茂幹（高松市立亀阜小学校）	山内 雄司（東部教育事務所）	
北岡 隆（琴平町立琴平中学校）	石川 敦子（西部教育事務所）	
水兼 博士（香川県立琴平高等学校）	渡邊 浩司（県教育委員会保健体育課）	

- 実施した学校からのフィードバックや事後アンケートをできる限り具体的に記録し、共有することで、さらに本事業の充実につながると感じる。
- 生徒が学校にいるときの対応だけでなく、登下校中の対応や休みの日の対応等も改めて確認する必要がある。
- 事業の成果や好事例等は積極的に発信し、防災意識、防災体制の地域差、学校差をなくしたい。
- 本事業を活用する学校（園）が増加することは素晴らしいことだが、これ以上の申請に対してアドバイザーが対応できない可能性がある。市町教育委員会や危機管理部局と連携した取組みに展開していく必要がある。